



「春よ来い、ぼく三年生になれるんだ。」
すつと よつくんの手がのびた

二年生で習った漢字を頭文字にした
手づくりのカルタ一万枚が並ぶ体育館
三十七チームにわかれて
競いあう子供たち

「絵がうまいね。」
「取りやすいよ。」
友だち同志でほめ合って
読む声が 一段とはずむ

ああ 春は
この子供たちのエネルギーに引き寄せら
れて やってくるにちがいない。

昭和56年1月1日
編集／発行
岡崎市教育委員会



(2年生のカルタ大会—緑丘小)

私は小・中・高・大と各種学校の教員歴をもち、その間十六人の校長さんにお仕えした。それぞれに卓越したものをもちであり、わけでも今なお心から尊敬申し上げているのは、岡崎小学校時代の伊野鯉之助校長である。先生は、一言もつていえば、寛仁大慶のお方であった。

ある時、同僚のY君が、校長の机上にあった金十円の札を失敬して、当時流行

と頭を下げ、左手で頭をかきながら、右手で自分のはいっている白靴を指さして、いかにも恐縮しきっている表情を示した。校長はにこにこして「ああ、そうかそうか。おれは風で舞ってどこかへ行ってしまったのではもつたないかと思つたが、それなら結構、結構。」といって、いささかのこだわりも見せられなかった。大勢の職員の中には、多少軌道はず

しない」といって毅然として突つばねられた。それでいて、そつとその要注の先生をかげに呼んで、「おい、気をつけろよ。」とやさしくさとされる温情豊かな校長であった。

こうした慈父のごとき校長であったから、どの先生も心から校長を敬慕し、この校長のためなら水火をも辞さない、という気概をもつていた。校長不在の時などみんな一様に「ナランダ、親爺はいないのか」とさびしい思いをさせられた。しかし、校長不在だからといって、決してなまけるものは一人もいなかった。

これは私の昔ばなしで恐縮だが改めて教育のあるべき姿を考えさせられる。今日も残念な中学校の集団暴力事件が新聞紙上をにぎわしていた。教育は魂と魂とのふれあいであるといわれている。その本質においては昔の教育も今の教育も変わりはない筈である。愛情とお互いの信頼関係に基づく望ましい人間関係を作ることに帰する。その基本は単なる技術ではない、人としての真心に外ならないであろう。人の先にたつ者は、この伊野先生のような敬まれ、慕われる人でありたい。

哲人カントは「人は人によって人になり得べし」と教育の原点について述べている。このことばは、余りにも有名であり昔も今も変わらぬ永遠の真理を語っていると思う。

一 教育随想 一

教育の原点

浅田蓬村

の白靴を買ってしまった。金十円がいかに大金であったかは、そのころの私の月給が金五十一円であったことでおわかりであろう。さて、その翌朝のこと、校長は「アー、昨日この机の上に十円札をおき忘れて帰ってしまったが、誰か知らんかなア」とつぶやきながら机上のみだれをなおしておられた。その時、Y君はつかつかとすすみ出て、校長の前でペコン

れたと思われる者もないではなかったが校長は決して強い語調でとがめだてはされなかった。その当時、村には学務委員というものがあつて、学校行政に關与しておられた。時折、校長に対して、何先生に注意するようにと要請された。校長はその都度「職員はみんなおれよりえらい県知事さんから免許状をいただいたる立派な人であるからおれは注意は



ローマは医師同伴で

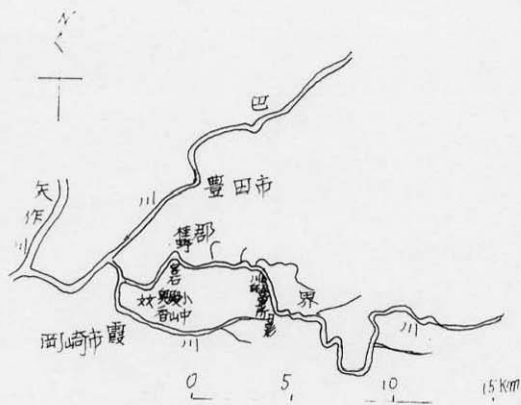
山下順子

ローマは危険ノとさんざん言われていたので単独行動は慎しむことにした。たまたま同じツアーの九州に住むというお医者様方とお近づきになり、緊張しながらも行動を共にさせていただいた。

ローマ最後の夜、カンツォーネナイトを終えホテルに戻り、その余韻から再びホールでのお医者様方と生演奏に合わせ歌ったりしていると、いつのまにやら何人も外人が集つてきた。そして、ことばこそ通じないが共に歌つたり踊り始めた。それはスペインあり、メキシコあり、イランありで各国の踊りを拍手の中で披露し合つていくという趣向のものであった。とりわけイランの初老夫婦の踊りなどは、しみじみと胸にこたえるものがあつた。もちろんわれわれ日本人も決つて外人に劣ることはなかった。

こうして外国ならではの楽しい時を過ごし、名残りを惜しみながらもローマを去り無事成田に到着した。ホッとしてまわりを見渡すと、かのお医者様方からそ

東海書道芸術院会長
岡崎美術協会展



— ふるさとの山河 —

川 界 郡

奥殿の学区を流れる郡界川は、矢作川水系に属する巴川の支流である。源流は岡崎市と豊田市の松平地区の間を遡って下山村にまで及んでいる。河川の長さは約二十四キロメートル、流域面積は、四十一・一平方メートル、川の平均幅は、一・七メートルである。

かつて郡界川は、名の示すように、額田郡と東加茂郡の境界をなした河川であった。巴川の東にあり、巴川の流れる方向とほぼ直交して東西方向に流れ、東部の小高い山地を浸食して深い谷を作りながら、西の巴川に流れ込んでいる。またこの浸食により、二畳ヶ滝（日影町）の景勝地を作り、観光にも一役買ってきた。この郡界川には幾多の歴史の跡がある。一八八〇（明治十三年）年、豊田市桂野町の宮本六太郎が、豊田市高岡から二台の

紡績機を取り入れ、桜橋上流（宮石町）で操業。また、宮石町から滝町へ大工として出向いていた人がガラ紡の便利さを伝え、宮石町の深津某なる人がこれを導入し、桜橋下流の水車を利用して操業しこれが次第に奥殿・宮石方面へ発展していったと言われる。（明治十四年ごろ）

一八八一（明治十四年）年、出水のため船紡績をあきらめ、鈴木逸治を迎えてから業績が上がるようになり、萩平へ工場を拡張し、次第に郡界川の上流へと広がっていった。このように、奥殿学区の紡績は、郡界川の西側と東側の両側から発展していった。電力利用時代に入ってから第二次大戦後の最盛期には、一五〇を数える工場が群立し、繁栄していた。一八九五（明治二十八年）年、「岡崎電

燈の父」と言われる杉浦銀蔵は、郡界川の滝（日影町、落差二十メートル、水量もある）に着目し、文明のともしびを誕生させるには適当な場所と考えた。早速用地を買収し発電所の建設に着工しようとしたが、地元民は、「この滝には竜神が住んでおり、滝を改造しようものなら竜神の祟りで人命を奪い洪水を起こす」と言って、猛烈な反対をした。

しかし、地元の名士黒柳某を、成功後社員格待遇とし、地元の開発に力を入れるという条件で工事は着工された。幾多の曲折を経て一八九七（明治三十年）年六月岡崎電燈第一号の岩津発電所が完成。奥殿学区を流れる郡界川には、下流から桜橋、弘法橋（中宮石）、宮松橋（中宮石）、無名の橋（上宮石）、川向橋（川向町）と五つの橋があり、豊田市へと通じている。多くの人の智の転変を秘めつつ、郡界川は兩岸の緑の美しい風景とともに、今日も悠揚と流れ続けている。

（奥殿小・奥平晴夫）



れまで耳にしたことのない九州弁が聞こえてきた。そこで再度安堵感が私の胸をよぎった。（河合中）

アメリカ・カナダを訪問して

安藤 恒夫

文部省短期海外研修に参加して、アメリカ・カナダの小中・高校を参観した。

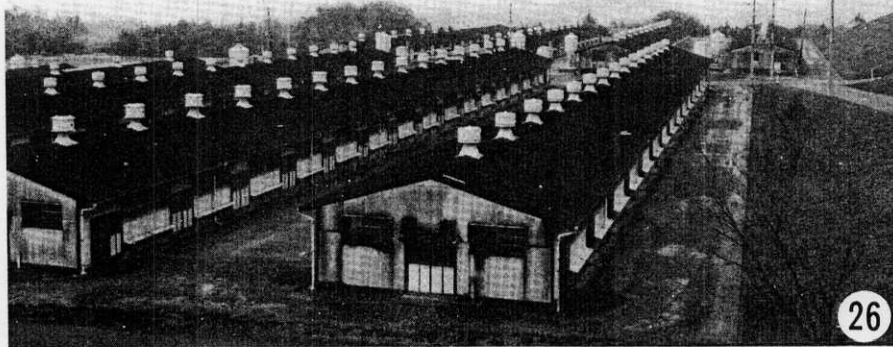
一学級二十五名くらいまでで、日本のような一斉学習が進められ、まじめに学習がされているようであった。

放課と授業のケジメがしっかりつけられていて、チャイムで席につけないと教室に入れてもらえず、廊下で座っている中学生も見かけた。

小学校三年生くらいまでは、英語、数学の基礎的な学習に力を入れているとのことであった。マイノットの学校であったか七年生の数学の勉強で、日本の小学校四年生が学習する程度の割算を学習していた。学力差も大きいらしく、学校も一年から六年までの学校、八年生や九年生までの学校などいろいろになっていた。

これを終えるとハイスクールに進む。それには専門職業学校と普通高校とがある。普通高校へは比較的高いクラスの子が進み、カナダではこの学校を卒業するものうち、半分は就職し、三分の一専門学校へ、五分の一の大学に進む現状である。普通高校でも、大規模で充実した職業教育が準備されている。

（童海中）



岡崎再見



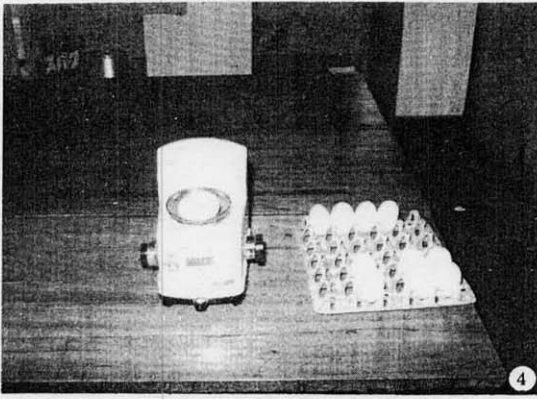
今年は酉年。時を告げるトリにちなんで、細川町の農林水産省岡崎種畜牧場を訪れてみた。この種畜牧場、以前は伊賀町にあったものが、昭和四十一年、現在地に移されたものである。

雨上がりの午後、岡崎の市街地を見下ろす丘に、幾棟もの鶏舎がたたずんでいた。鶏の宿にしては立派すぎる建て物である。鶏舎だけでも十九棟ある中に、約一万五千羽が、せつせと餌をついばみ、卵を産んでいる光景は、まさに壯観である。

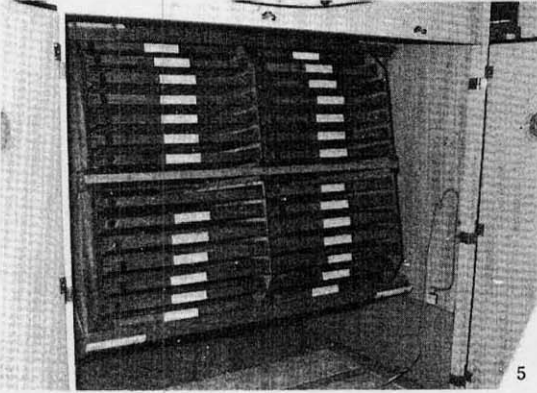
親どりには、みな背番号がついている。卵にも一つ一つ番号がつけられ、約一万個人入るふ卵器に入れられる。生まれたひななどは、成鶏になると、体重、卵の重さを計られ、卵を産む成績を表に記入される。

この種のデータから、雌は五羽のうち一羽が選ばれ、雄は種族維持の後継者として、十五羽に一羽が選ばれるという。今のところ、大部分が白レグである。この種の二十四系統の純系の保存を図り、よい品種の発見に努力している。他に、ロードアイランドレッド、横斑プリスマロックなどの新四種が、ここの代表的な飼育品種だそうである。

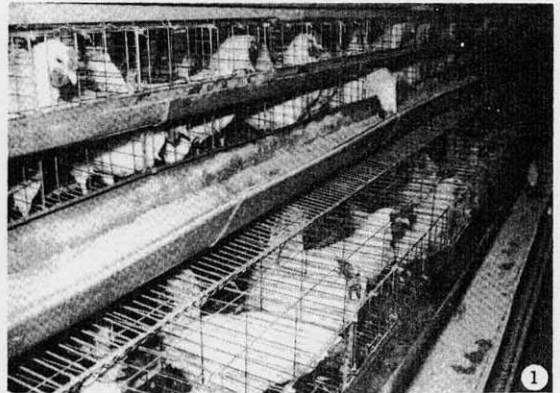
全国的には、福島・兵庫・熊本など、国の種畜場が十五か所ある中で、岡崎は基礎開発の部を受け持っているとのこと。他国にひけを取らない種の開発に励んでおられる研究員の方々にお礼を申し上げます、帰途に着いた。



4



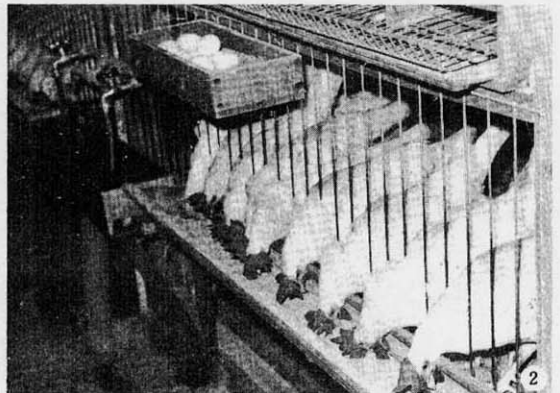
5



1



6



2



7



3

- ①一羽一羽ゲージに入れられて、産卵能力検定。産めよ産めよ。
- ②生まれて二七〇日、 $\frac{1}{2}$ の狭き門をパスして、有性卵を産む。この中に雄一羽。
- ③採取した卵は親の番号、日付けを記入して保管棚へ。二週間分をまとめてふ卵器へ。
- ④一卵ずつ精密に計量する。
- ⑤一回に一万卵ふ化できる。常に風を送り、一時間に一回転する。
- ⑥このゲージ内で四〜五〇〇羽、六〇日間のひよこ時代を送る。この間に予防注射十回、採血テスト三回。
- ⑦卵肉兼用種の横斑ブリマスロック種

ことばを追って

生平小 尾崎貴美子

先生、きょうも文を作ろう。「なんちゅうことばを使うの。」「M君は、すぐに作りたがる。」「おい、今の『すぐに』は、きのうの『すぐに』といっしょか。」きょうもまた、にぎやかな国語の授業が始まる。

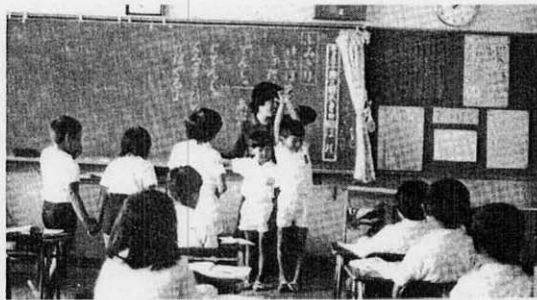
中学校から転任早々、一年生を担任した昨年は、声の高さと日本語の通じないことに悩まされ続けた一年間であった。

再び一年生を担任して、超スピードで回転する子どもたちの舌の先から、時々ハツとするようなおとなびた表現が発せられるのに気付いた。そしてまた、その使い方には苦笑させられることもたびたびであった。

「いくらなんでも、男だつて家庭科を勉強するんだよね。」

「こんな重たいカバンで、ひと苦勞してもしょうがないな。」

こんな子どもたちに、言葉の正しい意味や使い方を知らせ、喜びを持って言葉を使わせてやりたいと思いつつ半年が過ぎた。そしてまた「ていねい」という言葉の学習を進めながら、



「先生みたくないえらい人には、ていねいな言葉を使って、ていねいに頭を下げるんだよ。」と自分で自己嫌悪に陥ったり。とにかく、初めて教科書を開いた時、

「何、これ、絵ばっかり。これで一時間どうやってましたの。」と、わめいた私が進める授業である。周囲の先生方も、家族の方もハラハラのし通しだったことだろう。(本人のハラハラはいうまでもないが)あちらこちらから、指摘や指導を受けながら、なんとか今日まで過ぎることができたのは、子どもたちの輝いた目があったからである。

教育日々



仲よしピクニック

矢作西小 大久保 明

昨年から秋の遠足は、仲よしピクニックとして、一年から六年までの縦割り集団で行っています。

全校の児童(五二二名)を七グループに分け、それぞれに動物の名前(ビーバー・パンダ・白馬・ひぐま・やぎ・ペンギン・しろくま)をつけて呼び合っています。今年にはチーム長会で愛知子どもの国へ行くことになり

草むしりをしながら「六年生みたくい上手でしょ。」と話しかけられたり、作文中に「かまきりが、ぼくをにらみました。まるで体が目になつてみたいに見えました。」と書かれていたり。こんな子どもたちの成長に助けられて、「さて次の大切なことばは:。」と進める今日のごころである。

めました。

そして、チームごとに芝生広場での遊びやゲームについて話し合い、また、各学年に合った係を決めました。これは全員の児童が一人一係とし、助け合い協力することの大切さに気づかせ理解させたいという意図に基づいたものです。

十月十八日、暑いぐらいの陽光に恵まれました。子どもたちは、動物のついた手製のグループ旗を先頭に並びかせ、元気に出発しました。

仲よしピクニック 六年 A子

芝生広場に着き、最初は宝さがしをしました。一年生の子が宝をさがすのにいっしょけんめいです。それでもさがせないで、かわいそうだと思います。そのうちに、一年、二年、三年の子がいっしょになつてさがしています。うまいことを考えたなと思えました。それが終わるとドッジボールが始まりました。四年や五年の子が協力してコートを作ってくれました。

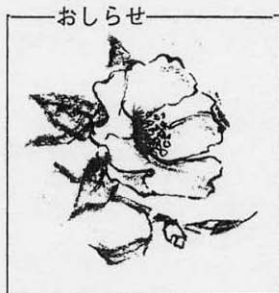
一年の子が「こわいなあ。」と言って、私にしがみつ



できました。「だいじょうぶだよ。大きい子もいっばいいるから。」と言ったら「ありがとう。」と言ってくれた。

(児童の作文抜粋)

ピクニックに行つてから、大放課の時には、一年生の子がわざわざ新館三階の六年生の教室に遊びに来るようになりました。また、運動場でも他学年の子がいっしょになり、ドッジボール・ハンドペースを喜々としてやっている姿が多く見られるようになりました。仲よく助け合い協力するという心が育つていくことを願っています。



理科教育振興費贈呈

岡崎市より四校

第二十五回理科教育振興費（ソニー教育振興財団より贈呈）の審査は、東大名誉教授茅誠司氏らによって行われ、最優秀一校、優秀三十校、優良九十校が決定、同財団より発表された。

その中で、特に岡崎市から優秀に三校、優良に一校が選ばれ、教育水準の高さを全国に示した。四校にはそれぞれ百万円と三十万円が贈られた。

贈呈された四校は次のとおり

- 優秀校
 - 常磐中学校
 - 香山中学校
 - 矢作中学校
- 優良校
 - 福岡中学校

■自作TP入選 四十三点

昭和五十五年度の岡崎市自作TP作品募集に、各教科・領域より小学校五十七点、中学校十

- 【寄贈刊行物・資料等】
- ◇啜啄 福岡小学校
 - ◇育成 男川小学校
 - ◇進学指導 南中学校
 - ◇豊かな情操の育成―視覚障害児と共に学ぶ― 竜海中学校
 - ◇岡崎市の野鳥 岡崎市教育委員会

一点の応募があり、審査の結果小学校三十五点、中学校八点の入選が決定し発表された。なお表彰は、去る十二月九日三島小学校の視聴覚教育研修会の席上で行われた。

■よい歯の児童生徒

▼岡崎一 竜美丘小・小野塚好司/同・岩佐綾子/竜海中・加藤智彦/甲山中・蛭川珠代/▼準岡崎一 六名小・佐々木和弘/広幡小・河東昌義/同・荻野名里/竜谷小・庄司正子/甲山中・生駒貴弘/東海中・本多好/常磐中・穴戸千圭子/南中

上原映子

■一月の研究発表校

・広幡小 30 (金)
「ひとり立ちの学習」を育てる

昭和55年度秋季小中学校各種競技記録

第13回岡崎市中学校新人総合体育大会成績

10月18・26日

種目	姓	1位			2位			3位		
		男	女	竜海	甲山	福岡	葵	美川	岩津	東海
バレーボール	男	竜海	甲山	葵	南					
	女	矢作	福岡	六ツ美	竜海					
卓球	男	東海	南	美川	岩津					
	女	矢作	南	美川	東海					
体操	男	甲山	竜海	葵						
	女	南	美川	矢作						
剣道	男	矢作	城北	甲山	常磐					
	女	東海	南	矢作	甲山					
柔道	男	美川	竜海							
陸上競技	男	矢作	城北	南						
	女	矢作	葵	甲山						
軟式庭球	男	城北	南	香山	葵					
	女	東海	南	附属	福岡					
ハンドボール	男	六ツ美	城北	葵	美川					
	女	美川	六ツ美	葵	岩津					
バスケットボール	男	葵	美川	甲山	六ツ美					
	女	城北	竜海	葵	矢作					
ソフトボール	女	矢作	南	岩津						
軟式野球	男	南	竜海	矢作	葵					

第19回岡崎市小学校陸上競技大会成績

愛知県岡崎総合運動場 10月26日

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
男子総合	大樹寺17	遠尺16	井田6	矢作順15	矢作順4	六美北3
女子総合	広幡21	緑丘18	三島15	六名15	六美南2	大門11

陸上競技個人記録

中学校

種目	男子			種目	女子		
	氏名	校名	記録		氏名	校名	記録
100M	江田 康宏	甲山	12"2	100M	増田 純子	竜海	13"0
400M	梶 顕二	城北	大会新 55"8	200M	田中 裕里	葵	28"3
800M	佐野 稔	南	2'15"4	800M	神谷千佐子	東海	大会新 2'31"4
3000M	服部 光幸	城北	大会新 9'40"9				
100 MH	明星 光信	附属	14"7	100 MH	山田百合子	葵	16"7
800 MH	城北 (梶 錦木・中村 伊藤)		1'46"0	800 MR	東海 (小田 鈴木 南牧野)		55"2
走幅跳	竹中 盛市	美川	5 M52	走幅跳	中間 洋子	矢作	4 M83
走高跳	今井 章夫	葵	1 M55	走高跳	山田 厚子	甲山	大会新 1 M45
砲丸投	佐々木洋志	六ツ美	12M37	砲丸投	鳥居 晶子	矢作	大会新 11M63

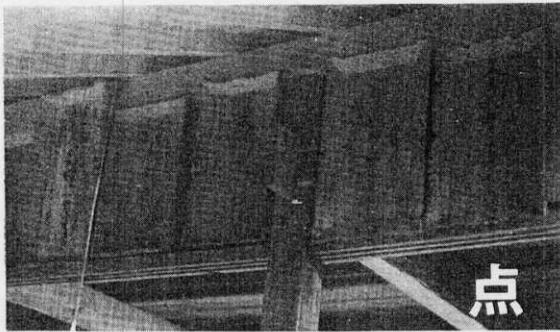
陸上競技個人記録

小学校

種目	男子			女子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
100M	杉浦 義規	山中	13"9	佐野 順子	大門	13"8
1000M	大塚 崇志	緑丘	大会新3'08"7			
60M H	松井 輝基	矢作南	9"4	谷山 和美	梅園	10"1
400M R		大樹寺	大会新 54"8		広幡	57"2
低 400M R		六名	1'01"7		緑丘	1'04"0
走幅跳	齊藤 哲也	連尺	4 M96	杉浦由美子	三島	大会新4 M56
走高跳	深見 兼司	大樹寺	1 M36	佐藤真由美	緑丘	1 M29
ボール投	安藤 昭茂	矢作東	72M06	水島 伸子	緑丘	大会新57M87

金の奉納額

上秦梨のバス停から東へ、車一台やっと通れる道をたどると行き止まりが才栗町入・入の山の部落である。谷間に七、八軒の家屋がよりそってたっている。民家の裏の藪の中に小さな社がたっている。八王子神社ということである。うっそうと茂る木々に埋もれて、二間四方ほどの本殿と十畳ほどの舞台、古い



点

所在地一岡崎市才栗町入

石灯笼一對だけのひそやかな神社だが、境内はいっつ行ってもしれいにはき清められている。この、舞台風の社殿の軒に『謹奉鶴中』『金の中』と大書した奉納額が計五面、全く損われずに掲げている。明治三十年代のものである。部落の人の話では、昔はこの神社の東の谷に的場があつて、

村の男衆はみな弓をよく引いたものだそう。相当な腕自慢もいて、県外へ試合に遠征していったという。「子供の頃だったでよく覚えておらんが、金的を射当てた人が村の衆に酒食をふるまい、神社に額を奉納したもんだ」と、教えてくれた。

才栗だけでなく、このあたり一帯は弓道が盛んな所で、須淵のお宮さんにも同様な額が掲げている。弓は戦争前までひく人がいたというが、今は的場も引く人もいなくなつてしまつた。

●カット

南中 加藤 洋子

この本を

- 文学教材分析の観点と実際 甲斐陸朗他 2,000円
明治図書
- 動物101話 川崎 勉 1,300円
内田老鶴圃新社
- すばらしき星空の饗宴 藤井 旭・三田誠広 880円
大和書房
- 娘と私のアホ旅行 佐藤 愛子 880円
集英社
- 続おばあさんの知恵袋 桑井 いね 900円
文化出版局
- 黄色い芽 志茂田景樹 980円
講談社
- 中学校の班は何をやるのか 坂本光男・太畑佳司編 1,400円
明治図書
- 還らぬ息子泉へ 朝倉 和泉 880円
中央公論社
- 郷土史事典愛知県 森原 章 1,300円
昌平社
- 異常気象 朝日新聞科学部 980円
朝日新聞

お雑煮であけたお正月。新たな感慨にひたる。

何となく、今年はいい事あるごとし。元日の朝晴れて風無し。啄木羽根つく姿が消え、凧がゲイラに変わつても、お年玉だけは昔も今も。年度のしめくくり、がんばろう。

オアシス

正月、近ごろはあまり行事も行われなくなり、昔の情趣もうすれてきたようだ。とはいっても新しい年を迎え、改まった心で眺める時、万物明るく美しく感じられる。昨年冷害、地震など自然災害の多い年であったが、今年こそ良い年であつてほしいと祈るや切である。

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。教え子から、懐しい友人から、今年もたくさん年賀状が届いた。「今年こそ元旦に届かせよう」と思っていたのだがまた、除夜の鐘を聞きながら、賀状を書くことになつてしまつた。やはり、恒例の正月行事、簡単には変えられない。すてきな鶏舎で、のんびりえさを食べていると思つた国家公務員のにわとりたちも、内情はきびしいきびしい。鳴き声も、苦・苦・もう結構と聞こえる。検定、検定でふるい落とされ、わずかに残つたエリートたちも、ただひたすらに餌を食べ卵を産むのみ。「人間つて、残こくね。」